

指導方法等の改善計画について 三原市立本郷西小学校

1 課題と取組について

本年度の結果について
<p>○取組の成果と課題 昨年度の結果から、国語では、「漢字の意味を理解し、漢字を正しく書くこと」に課題があった。そこで、意味を推測しながら漢字練習に取り組んだが、本年度も課題となっている。算数では、「情報で表すことができる二つの数量の関係を理解できていないために、立式を誤ったり、四則計算を誤ったりする」ことに課題があり、帯タイムで四則計算の反復練習を行ったところ、計算の誤りは減った。しかし、記述式の問題が引き続き課題である。</p> <p>○本年度の調査から明らかになった課題 国語では、「学年別漢字配表に示されている漢字を文中で正しく使う。(11.4%)」、「目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。(45.7%)」、算数では、「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述させる。」(33.3%)、「示されている除法の式の意味を理解している。」(27.8%)が課題である。</p>



課題克服に向けた重点取組
<p>○全校での取組について 宿題や帯タイムで、同音異義語を集めたり、意味を調べたりする漢字練習に取り組ませる。(いろいろな様式の問題を練習) 作文や日記等で、一文を短く書くように指導する。長い一文を二文に書き直す練習をさせる。 絵や図を活用させ、問題場面を把握、立式させる。(特に表・テープ図・関係図の書き方について重点的に指導)</p> <p>○授業改善について 国語科において、授業で自分の考えを、文字数やキーワードを指定するなどの条件に合わせて書く活動を設定する。 算数科において、数値の意味をはっきりさせ、式の意味や解き方の説明を文章で結論まで書かせる。ペアトークも活用し、自分の考えを結論まで言わせる。 角度、面積、体積等の単元で、全体から部分を引いて求める問題の練習を積み重ねる。</p>

2 本年度の結果(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	63.8 (103%)	66.6 (103%)
結果 (対県比%)	74 (112%)	64 (96%)

3 取組の計画

平成31年度 2学期
<p>【全校での取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員で問題を解き、下位3問の誤答分析を行い、改善計画を立てる。 改善計画を使い、校内研修を行う。 正答率の低かった問題に系統・関連している単元を共有し、重点的に取り組むことを確認する。 標準学力調査、単元末テスト、授業での漢字・計算テストでの目標値を周知、共有する。 「標準学力調査」に向けた取組の計画を立てる。(帯タイムの活用) 校内研修において、各学級の「書くこと」への取組を交流する。 授業で漢字テスト・計算テストを実施。(平均85点以上)
<p>【授業改善について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月の校内研究授業において、国語における「書くこと」を重点とする授業を実施、検証する。 9月の校内研究授業において、重点取組(操作、図・絵、式、言葉の活用)を取り入れた授業を実施、検証する。 10月の教育研究会において、各教科における授業研究を実施、検証する。 授業で、話し合い活動と書く活動を取り入れる。校内研修で取組を交流。 課題のあった単元・系統のある単元を重点的に指導する。(平均85点以上)
平成31年度 3学期
<p>【全校での取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月標準学力調査を実施。 2月結果を分析し、改善計画を立てる。 教職員全体で各学年の課題・改善計画を共有する。 3月次年度に向けて計画を立てる。 授業で漢字テスト・計算テストを実施。(平均85点以上)
<p>【授業改善について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題のあった単元・系統のある単元を重点的に指導する。(平均85点以上) 授業で、話し合い活動と書く活動をふり返り、校内研修で成果と課題を分析する。

4 次年度の正答率(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	対県比105%	対県比100%
結果 (対県比%)		

5 取組の振り返り

○効果のあった取組
○改善していく取組